

③	②	①
せかいの かくち	むかえると いう しゅうきょうてきな もの	ウ
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">おどり</div> で <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">かみさま</div> を	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">おそなえ</div> を して、 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">うた</div> や

「かいせつ」

(1) おまつりを たのしみに する ようすを
あらわす ことばが 入ります。

(2) と (3) は 文しょうの つぎの ばしょ
に かかれて います。

おまつりと きくと たのしみで、 なんだか
わくわくして きます。 たくさんの人があつ
まって 大きわぎを したり、 ごちそうを たべ
たり するからでしょうか。

② おまつりは、 もともとは おそなえを して、
うたや おどりで かみさまを むかえると い
う しゅうきょうてきな ものでした。

③ おまつりの ない くにや みんなぞくは あり
ません。 おまつりは、 せかいの かくちに あ
るのです。

③	②	①
ア	六百いじょうの きよく	その じだいの あたらしい 音がくを たくさん つくったから

「かいせつ」

(1)と(2)は 文しょうの つぎの ばしょ
に かかれて います。

モーツァルトと いう 音がくかを しって
いますか。モーツァルトは、天さいと いわれ
て います。その じだいの あたらしい 音が
くを たくさん つくったからです。 ^② なくなる
までの 三十五年かんで 六百いじょうもの きよ
くを つくって いるのです。それは いまも
のこって います。

モーツァルトが なくなつてから 二百年いじよ
うが たちました。いまでも たくさんの 人が
モーツァルトの きよくを きいて います。

(3) モーツァルトは いまに のこる きよく
を たくさん つくって いるので、いまだ
も たくさんの 人に きかれて います。

③	②	①
せかいの かくち	おどりで かみさまを むかえると いう しゅうきようてきな もの	たくさんの 人が あつまって 大さわぎを したり、 ごちそうを たべたり するから

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしよに かかれて
います。

① おまつりが ちかく になると、わくわくして
きます。たくさんの 人が あつまって 大さわ
ぎを したり、ごちそうを たべたり するから
です。

② おまつりは、もともとは おそなえを して、
うたや おどりで かみさまを むかえると い
う しゅうきようてきな ものでした。

③ おまつりの ない くにや みんなぞくは あり
ません。おまつりは、せかいの かくちに あ
るのです。

③	②	①
六百いじょうの きよく	たくさん つくったから あたらしい 音がくを	二百年いじょう その じだいの

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしよに かかれて います。

① モーツアルトが なくなつてから 二百年いじょうが たちました。いまでも たくさんの 人が モーツアルトの きよくを きいて います。

② モーツアルトと いう 音がくかは 天さいとよばれて います。その じだいの あたらしい音がくを たくさん つくったからです。③ モーツアルトは、なくなるまでの 三十五年かんで 六百いじょうもの 名きよくを つくつて います。



③	②	①
イ	三 かい	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">しっぽのよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">な</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">せんを</div> </div> <p>ひきながら、</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ひかってとんでいくもの</div>

「かいせつ」

(1)と(2)は文しょうのつぎのばしょにかかれています。

よるの空をみつめていると、しっぽのようなせんをひきながら、ひかってとんでいくものがきゆうにあらわれることがあります。これがながれぼしです。

ながれぼしがひかっているのは、わずか一びょうほど。②そのながれぼしがきえないうちにねがいごとを三かいいうと、それがかなうといわれています。

(3)一びょうほどというすくないじかんをあらわすことばが入ります。



③	②	①
ウ	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ひかって とんで いく もの</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ひきながら、</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">しっぽのよう な せんを</div> </div>	三 かい

「かいせつ」

①と②は文しょうの つぎの ばしょにかかれています。

① ながれぼしが きえない うちに ねがいごとを 三かい いうと、それが かなうと いわれています。

② ながれぼしとは、よるの 空を みつめて いると、しっぽのよう な せんを ひきながら、ひかって とんで いく ものです。

ながれぼしが ひかって いるのは、わずかに びょうほど。だから、三かいも ねがいごとを いうのは とても むずかしい ですね。

③ わずかな じかんに 三かいも ねがいごとを する ことの たいへんさを あらわす ことばが 入ります。